

菅原白龍 すげのり 畫家。天保四年十一月十二日出羽國生れ、明治二十  
一年五月二十四日歿（八三二六）。初名道雄、元道。號五石千水樓、  
八十八溪居士、和樂齋、白橋隱士、智源、梵林、梵林道人、表嶽、源  
曉、爽氣襲人、白龍山人、菅元道、駿臺隱士等。熊坂適山、富取甚齋  
に花鳥畫を學び、ゆづり日本の南畫の確立に努めた。明治二十年繪畫共  
進會審查員。また書、篆刻、漢詩を能くした。

添田洋嶺 すゐのり 著者 明治南畫 の先覺者 菅原白龍 『昭和十三年十月二十五日生云軒堂』

并。